



市民活動センター たちかわ通信



市民活動センター
たちかわは、ボランティアやNPO・地域活動などあらゆる市民活動をサポートするセンターです。

2005.3 Vol.24

第2回「市民おもしろ大学」開催しました

「来てよかった!!! 人命救助に命をかけている人達の生の声を聴くことが出来、自分の生き方を考えさせられました。

涙 涙 感動でした書ききれない位...。」

(当日アンケートより)

もくじ

第2回『市民おもしろ大学』開催・・・P 2

～イベント・講習・講座

ドキュメンタリー映画「あしがらさん」・・・P 4

～ひと・モノ・募集

市立柏小学校での介助員募集・・・P 5

新年度に向けてのご案内

そろそろ切れます！ボランティア保険・・・P 6

団体登録の確認を・・・P 6

～今月の市民活動団体トピックス

ピアステーション あすなる・・・P 7

～こんなご相談をいただきました。そして・・・

中学生のボランティア・・・P 7

～市民活動センターより報告とご案内

市民活動センターのおすすめ活用法・・・P 8

編集・発行

社会福祉法人 立川市社会福祉協議会

市民活動センターたちかわ

〒190-0013 立川市富士見町 2-36-47

Tel.042-529-8323 Fax.042-529-8714

Email aiaivc@whi.m-net.ne.jp

URL <http://act.annex-tachikawa.com/>

開所日・時間

(月)～(金) 8:30～19:00

(土) 8:30～17:15日・祝日はお休みです。

交通アクセス: JR立川北口駅より徒歩15分、JR西立川駅より徒歩8分。北口バス停 乗り場、富士見町2丁目下車徒歩4分。立川市女性総合センターアィム前発くるりんバス、南くるりん左回り乗車。『総合福祉センター前』下車徒歩0分、平日は無料シャトルバスが立川駅北口バスロータリー交番前より 9:50、10:30、11:10、11:50、13:10、13:50、14:30に出ています。



2月5日(土) 第2回「市民おもしろ大学」開催

講師：東京都消防庁第八方面本部 ハイパーレスキュー隊
隊長 巻田 隆史 さん

テーマ：ハイパーレスキュー隊と新潟中越地震災害の活動

講演前、高まる期待

100名を超える予約、反響は大きかった。当日も、講演に対する期待の高さは伺えた。「予約はしていないのだけどどうしても参加したい」そんな想いを持って会場に訪れた人達もいた。本会場は満杯になり、ビデオのモニタールームも次々と席は埋まっていく。期待高まる中、135名もの人達が巻田さんと出合った。

写真やDVDなど映像をもとに巻田さんの話は進む。映像の一つひとつがハイパーレスキュー隊が常に最前線で活躍している証といえるものであった。徐々に広がっていく、土砂崩れの事故現場での活動の風景。当日の会場は昨年10月へと戻っていた。

ハイパーレスキュー隊の発足

1995年1月17日午前5時46分、消防救助の想像をはるかに超える災害が起きた。阪神淡路大震災の経験から、東京消防庁は重機や火薬を使える部隊を発足することを決めた。1996年12月17日、消防救助機動部隊が創設された。救急救命士や重機扱いの資格を持つ隊員がいる精鋭集団は、人命救助への想いから発足された。

新潟中越地震出動、そして27日へ

巻田さんが所属する、第8方面本部(立川防災基地)は1日20名の隊員が3班に分かれ、24時間体制で勤務している。10月23日、新潟中越地震発災、出動命令が下る前に、隊員たちは準備を済ませていた。命令後では遅い、迅速な対応が始まっていた。この時、派遣部隊は第1～14次まで投入。車両やヘリコプターでハイパーレスキュー隊を含め286名の消防隊員が現地へ駆けつけた。主に孤立してしまった人を誘導、搬送する支援を行い、167名を救援した。23日の活動が終わり、第8方面本部の隊員も帰路へとついた。

27日午前4時、昨日から続いた立川と国立の火災の救援活動を終え本部に戻ると、再び新潟の事

故現場への出動命令が下る。新潟中越地震への二度目の出動、当然休む間などなかった。

恐怖との戦い、レスキューの現場から

土砂崩れの現場に到着したハイパーレスキュー隊、巻田さんは救助を待つ家族に呼びかけた。その時巻田さんは「声にならない声が耳に聞こえたというか耳に通った」感覚を得たという。他の隊員に聞こえなかった声、飛び交う無線、自分達の命を守るための現場付近を飛ぶヘリの音さえうるさく感じた。「サイレントの時間、沈黙の時間を3分でいいからつくって欲しい」わずかな静寂、隊員がご家族に呼びかける。そして「1人か3人かわからない。けど、絶対に生きている」そう確信した。しかし、メディアに対しては「わからない」と答え、「ただ、姿なき声はありました」と最後に結んだ。

「恐怖と戦っている中で、あの声に勇気をもらった自分達の手で助けるんだ」と巻田さんは当身を振り返る。現地の写真と巻田さんの声、沈黙、話す表情から現場の緊張が伝わり、会場を包む。会場は、当時のハイパーレスキュー隊と同じ世界にいた。

優太ちゃんが救出された時、会場から歓喜の声が上がった。

重なる面影

部隊には30代の隊員がいた。活動をしていて自分の子どもとダブらせてしまう。重なる面影、



講演中の巻田さん

優太ちゃんを救出した隊員には、同じ歳の子どもがいた。「救出口は不安定で、余震の危険性もあった。その隊員を救出口から本当はすぐに出したかった。でも、『車に入れないのか?!』『二人はいないか?!』探させた」と巻田さんは語る。

そして、お母さんとお姉ちゃんの話に至る。「レスキュー隊としての意地、みんな意地にかけていた」と巻田氏は語る。巻田さんの想いに会場は打たれた。2人の死亡が確認された時、会場から涙が溢れた。

「おしゃべりが下手」巻田さんの人柄

おしゃべりが下手だと巻田さんは言う。しかし、こんなエピソードがあった。巻田さんは講演に際し、「原稿はつくらなくて、会場にいる皆さんの様子を見ながら、対話をするようなかたちで話をしたい。」と言った。巻田さんは原稿に上手に並べられた言葉を話してる訳ではない。ただ、被災現場のことを考えながら語る巻田さんの言葉一つひとつには想いの力が込められていた。これこそが人を動かす力だと感じる。想いが人の心を打ち、勇気や感動を与えていった。

講演の最後に巻田さんは「具体的過ぎたので他では言わないでください。ご家族のことを考えると…。すみません、以上です」と結んだ。

講演終了後、沢山の人が巻田さんに自身の想いを伝えに行った。時間が押しているにもかかわらず、巻田さんは全員の話聞いてくれた。想いを受け止めてくれた。

「感動しました。人の命を救うこと、自分の尊さを教

えていただきました。本当にありがとうございました」

「命の大切さ、尊さ、その命を守る人がいてくれる(働き)唯々頭が下がります。感謝です」

「来てよかった!!! 人命救助に命をかけている人達の生の声を聴くことが出来、自分の生き方を考えさせられました。涙 涙 感動でした書ききれない位…」(当日アンケートより)

2月5日、私達は巻田さんの人柄に触れた。「愛・技・絆」ハイパーレスキュー隊のワッペンの中に書かれた三つの言葉、巻田さんの生き方を表していた。

隣近所の助け合い

巻田さんにこんな質問があった。

「もし、立川で災害が起きた時、我々市民はどんなことを心がけていたらいいでしょうか？」

「ご近所での助け合いですね。阪神淡路大震災の時、災害時支援ボランティアも誕生しました。けれど全員のところには行けないんです。隣近所で助け合う体制の基盤をつくってもらえれば幸いです」と巻田さんは答えた。

この言葉が次の活動へのヒントとなる。今、地域社会に必要なものは「愛・技・絆」なのではないだろうか。



ハイパーレスキュー隊のワッペン 愛・技・絆

交流会での話

講演終了後、講演に参加した市民が集まり、防災について話し合った。輪の中には、地域で防災活動をしている団体に所属している人、身体に障害のある人、地域でボランティア活動をしている人、講演に感動し参加してみようと思った人、様々な立場の人が参加してくれた。

様々な取り組みが発表され、こんな活動をしていただくと驚いた。

同じ様に「防災」というテーマで活動をしている団体同士でも、他の団体の活動は余りよく知らない。災害時近所に住む人は大丈夫だろうかと心配して

いる人も、どこにどんな団体があって、どんな活動をしているのかも分からない。不安を伝える場も無かった。

参加者の一人から「連絡会のような切り口で、お互いつながっていくことが大切なのではないか」という意見が挙がった。巻田さんもつながりの大切さを教えてくれた。

合同訓練など色々な方法がある。手と手を取り合って進んでいければ、それぞれの抱える悩み・不安も減っていく。人と人のつながりが、まちに笑顔をもたらすのではないだろうか。

情報コーナー

～イベント・講習・講座・ボランティア情報など～

ここに掲載されている情報の詳細に関しては、直接主催団体にお問い合わせください。

このコーナーは、市民活動やボランティア活動に関するイベント等の情報を毎月掲載しています。またこのコーナーへ掲載する情報も随時募集しています。掲載ご希望の方は毎月20日までにご連絡ください。

イベント・講習・講座

講演会「介護が必要になっても その人らしく暮らし続けるために」

至誠キートスホームにおけるデイサービスとユニットケアの取り組み

講師：大村 洋永(至誠キートスホーム園長)

日時：3月5日(土) 14:00～16:00

会場：至誠キートスホーム(定員30名)

参加費：無料

申込み：電話(538-2323)かFAX(538-2324)で。

担当：至誠キートスホーム 栗原

主催：至誠キートスデイサービスセンター

男女共生社会を考える

ナンバーワンよりオンリーワン

内容：第1部

講演「どう変える?これからの生き方・働き方」

講師 玄田 有史さん

第2部 フェミニズムパフォーマンス

「生き方変えようヴァンパイアショック!」

出演 新座はんさむウーマンネットワーク

日時：3月6日(日)10:00～12:30(開場9:40)

場所：立川市女性総合センター・アイム1Fホール

入場無料、直接会場にお越し下さい。

保育有り(要申込み・1才～学齢前)

主催：立川市・アイムフォーラム実行委員会

TEL：042-528-6801

ドキュメンタリー映画「あしがらさん」

笑顔が本当にステキです...あしがらさんに会いにきませんか?～生きるってどういうこと?他者を受入れるってどういうこと?あなたと一緒に考えたい～

あしがらさんは20年以上も新宿の路上で生きてきた。あるときあしがらさんの笑顔に触れた作者は「このひとをもっと知りたい」そんな気持ちでカメラを回し始める。3年におよぶ撮影でいつしか生まれた信頼が、思いもかけない変化をもたらす。新たな人生を歩み出したあしがらさんの姿は、私たちに微笑みと希望を与えてくれる。それは「人生とは?希望とは?人とのつながりとは?」と静かに問いかけているのかもしれない。

お申込みは、国立市ボランティアセンターへお電話ください。

情報をお寄せください! みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

日時：3月12日(土)14:00～16:30

場所：くにたち福祉会館 4階 大ホール

料金：入場無料・トークセッションあり。

主催：国立市ボランティアセンター・

くにたち権利擁護センター準備室

TEL：042-575-3223(月～金)9:00～17:00

「あしがらさん」上映ネットワーク

<http://www5f.biglobe.ne.jp/~ashigara/index.html>

来て!見て!知って!『もう涙は拭いて下さい』

東京立川断酒新生会・家族会主催

第6回合同勉強会

アルコール依存症は低人格、意志薄弱者になるもの、といった偏見が社会には根強くあります。アルコール依存症は病気です。

病気だから治さなければなりません。アルコール依存症より回復または回復しつつある本人、永い年月を巻き込まれた家族の体験談で来て、見て、少しでも理解して下さい。今もなおアルコールに溺れている本人、そして巻き込まれて泣いている家族があります。私たちは、一人でも多くの立ち直りと、共に励まし支え合っの明るい日々を送れるよう断酒の喜びを酒害に悩む人達に伝えることを会の活動目標の一つとしています。参加費、申込みは必要ありません。

日時：平成17年3月13日(日) 13:00～16:00

場所：立川中央公民館(柴崎町1-1-43) 第1教室

JR立川駅南口下車徒歩10分 諏訪神社北側

講師：三船クリニック 精神保健福祉士 柴田 永子

三船クリニック 精神保健福祉士 艾 瑞子

問合せ：立川市断酒新生会 喜納 昭太郎

TEL：042-525-5325

ボランティア入門講座参加者募集!

高齢者の理解にも役立ちます。ご参加お待ちしております。住所、氏名、電話番号、年齢をご記入の上、お申し込みください。

日時：3月19日(土)10:30～15:45

3月20日(日)10:30～16:00

場所：至誠ホーム センター4階研修室

対象：立川市及び近郊にお住まいの方(高校生以上)

締切：3月15日(火)

申込方法は、ご来園・葉書・電話・ファックス・Eメールにて受け付けます。

“ジュニアボランティア講座”

お年寄りのこと、もっと知って、お年寄りと仲良くなろう！そして社会を支える力になろう！

日時：3月30日(水)9：00～15：00

3月31日(木)9：30～15：30

場所：至誠ホーム内

対象：立川市内の小学5年以上及び中学生

締切：3月19日(土)

動きやすい服装でおいでください。上は長袖か半袖、下は長ズボン。上履きを持参してください。昼食は至誠ホームで準備します。

申込み・問合せ先：

至誠ホーム企画調整センター

立川市錦町6-28-15 e-mail：kikaku@shisei.or.jp

TEL：042-527-0035 FAX：042-527-2646

新しい出会いにチャレンジしませんか！

知的障害児・者のガイドヘルパー養成講座

知的障害があっても、お金の管理や切符を買うなど、少しの支援で買い物やボウリングを楽しむことができる方がいます。重い障害を持っていても、カラオケやハイキングだって可能です。知的障害のある方の外出や社会参加にあなたの力を貸してくださいませんか。

日時：

講義 3月19日(土)～3月20日(日)9：10～17：00

演習 3月27日(日) 10：00～16：00

場所：講義 トヨタドライビングスクール東京

(立川市羽衣町1-3-4 JR中央線立川駅10分。)

演習 国営昭和記念公園 (立川市緑町3173)

定員：40名

受講費用：10,000円(テキスト代含む)

申込み・問合せ：

NPOこげら会・ケアこげら 西東京市新町1-14-10

TEL：0422-52-3103 FAX：0422-52-3197

<http://www.h2.dion.ne.jp/~kogera/index.html>

CEP・子どもひろばの公開講座のお知らせ

<春休みボランティア体験>

ホームレスの人と共同作業をしよう

内容：NPO法人発行:中学生向け人権教材「はじめの1歩 ホームレスってどんな人」の製本を皆で協力して仕上げます。その共同作業を通して交流しお

互いの立場を越えて理解し合えるような機会を提供します。

日時：3月26日(土)13：00～17：00

場所：立川市総合福祉センター

対象：中学生以上

参加費：無料

<連続>CEPボランティア養成基礎講座

市民と市民が共に学ぶ参加型学習を基本にした活動に関心のある方は是非おいでください。まずはワークショップを体験してみませんか。

日時と内容：

4月9日(土)10：00～12：00

CEP親子の安全トレーニング：ワークショップ体験とアシスタントのトレーニング

4月17日(日)10：00～12：00

CEPティーンズドラッグ：ワークショップ体験とアシスタントのトレーニング

4月24日(日)10：00～12：00

活動内容の具体的説明と質疑応答

場所：立川柴崎会館

対象：16歳以上で当会のボランティア活動に関心のある人

参加費：各回1,000円

連絡先：

NPO法人市民共同プロジェクト子どもひろば

TEL&FAX 042-561-8323

E-mail：kodomohiroba@yahoo.co.jp

HP：http://www.geocities.jp/kodomohiroba

たちかわパソコン倶楽部

無料パソコン相談会(月2回)

ボランティアによるパソコン相談会です。「パソコンの操作方法を教えて」「デジカメ写真を文書に入れたい」「パソコンの動作が変だ」など、パソコンに関する相談にお答えします。

日時：毎月第2・4土曜日の午後2時～4時

場所：総合福祉センター2F・市民活動センター前
費用：無料

申込み：不要。直接会場へ。

その他：ノート型パソコンの人はご持参ください。

連絡先：たちかわパソコン倶楽部(岩間)

http://tachikawa_pcc.at.infoseek.co.jp/

TEL 090-1260-9068 FAX 042-544-9686

E-mail iwama@mbj.nifty.com

ひと・モノ・募集

立川市立柏小学校での介助員募集

対象：22歳～30歳位の女性の方

内容：車いすを使用している児童の介助

勤務地：立川市立柏小学校

(モノレール：砂川七番徒歩7分)

勤務日時：月曜から金曜までの8:15～

(一日平均6時間30分)

雇用期間：4月からの学期毎の雇用

賃金：時給/970円 交通費/1日360円支給

保険：厚生年金・健康保険・雇用保険に加入、

情報をお寄せください！みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

労災適応

連絡先：立川市立柏小学校 教頭：高見まで
TEL：042-537-1962 立川市柏町4-8-4

地域ディグループスマイルくらぶ補助指導員募集
子どもとふれあうことが大好きなあなた、なんだかやってみたくらいと思えるあなた、スマイルくらぶで働いてみませんか。ボランティアさんも同時募集！

場所：立川市高松町(立川駅北口 徒歩15分)
仕事：知的ハンディのある子どもたちの余暇活動支援
下校時学校にお迎えに行き、バス・電車を利用し移動する際の支援、リトミック・エアロビクス・工作・外遊び等の活動を一緒にしながらの支援

勤務：月曜日、水曜日/13：30～17：30又は18：00
土曜日 / 9：30～17：30
週1日～OK・学校休業中及び活動内容によって勤務時間に多少変更あり。

資格：18歳～45歳位
(未経験者歓迎・専門資格特に不要)

賃金：時給800円 交通費別途支給(上限500円)

連絡先：

スマイルくらぶ (担当：内藤・寺本)
月曜日・水曜日 10：00～18：00 TEL：042-523-0818
木曜日 10：00～14：00
土曜日 9：30～17：30

上記以外の連絡先(北村) TEL：042-526-9304
立川市手をつなぐ親の会 スマイルくらぶ
立川市高松町2-1-7 リプロ立川



市民活動センターたちかわ より

新年度に向けてのご案内

そろそろ切れます！ボランティア保険

当センターで取り扱っているボランティア保険は、年度末(3月31日)で補償期間が切れてしまいます。ボランティアグループなどで一括で加入される場合など、加入希望者の名簿などをそろそろご準備されると手続きがスムーズです。

保険の詳細については3月7日以降にお問い合わせください。17年度の受付は14日を予定しております。

ボランティア保険は低額な料金で、補償期間は4月1日から翌年の3月31日までです。補償期間途中加入の場合は加入手続き完了日の翌日から3月31日までとなりますので早いうちから加入されるとお得です。

団体登録の確認を

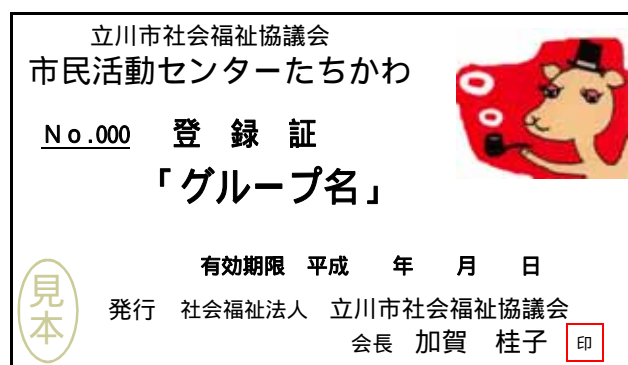
登録いただいている団体みなさまに発行しております登録証の有効期限は3月31日となっております。この登録証は学習等供用施設が無料でご使用いただけるほか、貸し出し機材の割引を受ける際に必要なカードです。

また、市民活動センターWEBたちかわのIDとパスワードの有効期限も3月31日となっております。このID

とパスワードを使用することにより、市民活動WEBたちかわに、お手元にあるパソコンで情報を書き込むことができます。

登録の更新については3月中にご通知いたしますが、登録が遅れる場合はご注意ください。またメンバーや役員などに変更があった際は、お知らせいただくようお願いいたします。

新規に登録を希望される団体は市民活動センターまでご連絡下さい。



掲載のものは平成16年度の登録証です。

NPO・ボランティアのための団体運営ノウハウ相談

実際にNPO法人として活動している団体が運営について個別にご相談にのります。事前に市民活動センターまで電話かメールでご連絡下さい。(1団体1時間以内)
相談日時は調整させていただきます。ご予約の際は、簡単なご相談内容をお知らせください。回答に資料準備や調査が必要になる場合、相談日の後に回答をさせて頂くこともあります。
協力：市民活動サポートセンター・アンティ多摩

情報をお寄せください！ みなさまからのご意見・掲載情報をお待ちしています。詳しくは電話またはメールにてご連絡ください

今月の市民活動団体トピックス

「障害者は本当に生活の選択ができるようになったのか」に向かっていくことを決めたNPO

留学生時代のアルバイトがきっかけで

韓国から語学の勉強のために留学に来た高さん。学生時代にたまたまアルバイト先として選んだのが、在宅障害者のヘルパー。

この選択が高さんの人生を一変させることに!?

「施設から出て自立生活を果たしたと同時に、孤立した生活を送ることになっている障害者がいる」

「どうして利用者とヘルパーは家庭的な関係をつくることをよとされなないんだろう」

「ヘルパーを派遣して終わりではなく、海外旅行や留学の相談にもものれるところがあっていいのに」ヘルパーとして現実の障害者の生活に直面し、たくさんの思いがめぐっていった。



夢を広げながら、準備に追われる日々

NPO法人として解決のための一歩を踏み出す

今、高さんは、意気投合した人たちと共に、NPO法人として具体的に事業を進めていく準備に入った。

『障害者が文化的生活の選択ができることにこだわる事業所』を描いている。

『ピアステーション あすなる』としてスタートする予定。

ピアステーションあすなるの方々は言う。

～『事業所の規模はなるべく小さく』が経営方針。事業所拡大にお金を使うのはもったいない。事業が広がっていったら、事業所はどんどん分離して独立していけばいい。だってひとりひとりの利用者が見えるちょうどいい大きさとあると思うから～

高さんの未来予想図は

母国韓国の福祉施策は日本の数十年前の状況。日本が抱える問題を繰り返さないよう、知恵と工夫をいつかは母国での展開でもいかにしたい。高さんはそんな未来図も胸に抱いている。

ピアステーション あすなる 連絡先

tel:042-536-8461

こんなご相談をいただきました。そして・・・

ゴミ出しができずに困っている人がいます



ケアマネジャーとの打ち合わせ風景・・・どこにゴミを置いておくか、もし何かいつもと違うことがあったらどこに連絡をするか、加えて守秘義務のことなどを説明。

ご相談は、市内のある高齢者在宅介護支援センターから頂きました。地域にはお身体の調子が悪く、朝のゴミ出しをするのが困難な方がいらっしゃいます。大人同士で解決するのも手ですが、あえて近隣の中学生にお願いをしてみることにしました。やってくれる人がいるか、不安でしたが、生徒さんや先生に呼びかけを依頼したところ、3人の生徒さんが手を挙げてくれました。希望者宅の方向に自宅のある生徒さんで、登校ついででの活動になります。

3人の生徒さんは「友だちに頼まれたから」と気負いのない様子です。同様の取り組みは他の複数の小学校で取り組まれています。地域でも家庭でも、かつての様に子どもたちが何らかの役割を与えられることは少なくなりましたが、とくに小学生などはとても意欲的に取り組んでいます。青年の活動の場を設けるように、地域の団体さんも、もっと仕事を頼んでみたらいかがでしょうか。

NPO法人設立ガイドンス

NPOに興味はあるけど難しそう・・・そんなあなたもお気軽にご参加ください。NPO法人の設立に関心のある方向けです。NPO法の解説・法人化の意義・設立のために必要な事務などわかりやすくお話します。

事前に市民活動センターまでご予約ください。定員20名。

日時：平成17年3月23日(水)19:00-21:00

会場：立川市女性総合センターアイム5F第2学習室

立川市曙町2-36-2

ご協力ありがとうございます！

『市民活動センター たちかわ通信』を常設しているところ(下記の場所で受け取ることができます)

立川市社会福祉協議会・市内各公民館・図書館・福祉会館・学習等供用施設
フレンド書房・セイフー立川若葉店・モスバーガー立川高松町店・ローソン若葉町一丁目店
トヨタ西東京カローラ立川富士見町店・レストランサラ・東京ボランティア・市民活動センター

一部地域に新聞折込をさせていただいています

YC読売新聞立川北部サービスセンターの皆様のご好意により、
読売新聞をご購読の方は折り込みにて配布されます。(栄町・高松町・曙町の一部)



市民活動センターたちかわの おすすめ活用法

ホームページ「市民活動WEBたちかわ」

登録団体はホームページのシステムを無料でご利用いただけます。講座のお知らせなど自由な更新が可能となっております。ぜひご利用を。



市民活動センターに登録しませんか？

登録していただくと市民活動センターの広報媒体を使い広く市民のみなさまに活動を広報できるほか、団体として貸室の予約が早く申し込める、印刷機が安く使用することが出来るなどのメリットもあります。毎年4月の更新です。

登録のご希望は市民活動センターまでご連絡ください。

Tel 042-529-8323 Fax 042-529-8714

Email aiaivc@whi.m-net.ne.jp

会議にイベントに・・
是非ご利用ください！



貸し出しスペースについて

- ・ボランティアルームふじみ(立川市総合福祉センター内)
- ・ボランティアルームしばざき(立川市シルバー人材センター内)
- ・事務所前のスペース(活動センター前)

活動センター前では無線でインターネットがご使用になれます。

お申し込み方法

事前にお電話か来所にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。

(登録グループは優先予約あり)

備品の貸し出しについて



貸し出し機材について

- ・A1拡大コピー機が好評です。パソコンでの入力も可能です。
A4サイズをA1サイズに拡大した場合の料金は100円となります。
- ・印刷機の空き状況をご確認ください。大量使用は必ず事前にご予約ください。
利用料金は、製版代1枚あたり50円。インク代は499枚まで無料。それ以降は500枚毎に100円いただきます。(登録グループは999枚までが無料)

そのほかの貸し出し物品については利用案内・ホームページを御覧ください。

お申し込み方法

事前にお電話か来所にてお申し込みください。先着順とさせていただきます。

ボランティア保険の加入について

ボランティアをする際にはボランティア保険に加入しましょう。適用範囲などお問合せ下さい。自治会活動の保険についても情報提供できます。

お申し込み方法

お申込みは当センター及び社協あいあいステーションでも受け付けております。

(営業時間は伊勢丹立川店の営業日で、10:00～18:00。年末年始は変更あり。)